

防災減災学術連携委員会（第 25 期・第 2 回）

議事要旨

日 時：令和 3 年 2 月 9 日（火）10:00～12:00

会 場：ZOOM を用いたオンライン会議

出席者： 米田雅子（委員長）、田村和夫（幹事）、大西隆、中村尚、目黒公郎、森口祐一、
安村誠司、吉原直樹、和田章（9 名）

欠席者： 小池俊雄、平田直、山本あい子（3 名）

事務局： 松室参事官、薦田有紀子 他

議 題：

- 1) 前回議事要旨（案）の確認
- 2) 日本学術会議主催学術フォーラム・第 11 回防災学術連携シンポジウム
「東日本大震災からの十年とこれから－58 学会、防災学術連携体の活動－」開催報告
- 3) 防災減災学術連携委員会の延長申請について
- 4) 防災減災学術連携委員会の委員追加申請について
- 5) 今後の活動について
- 6) その他

配付資料：

- 資料 1 防災減災学術連携委員会（第 25 期・第 1 回）議事要旨
- 資料 2 防災減災学術連携委員会設置要綱改正案（延長申請）
- 資料 3 追加委員候補案
- 資料 4 学術フォーラムの概要について（事後報告）
- 資料 5 学術フォーラムのアンケート結果
- 資料 6 学術フォーラムの新聞掲載記事
- 資料 7 冊子「東日本大震災からの十年とこれから」（目次）

議 事：

議事に先立ち、米田委員長より、任意団体として約5年間活動してきた防災学術連携体が、4月までに一般社団法人化される予定であることの報告があった。

1) 前回議事要旨（案）の確認

前回議事要旨（案）について和田委員より説明があり、確認された。

2) 日本学術会議主催学術フォーラム・第11回防災学術連携シンポジウム

「東日本大震災からの十年とこれから－58学会、防災学術連携体の活動－」開催報告
標記学術フォーラム（1月14日開催）について田村幹事より資料4～資料7に基づき開催報告があった。YouTubeの視聴者数：850名（平均）、開催時間内総アクセス回数：5000、で報道関係も多く参加し、当日夕方のNHK総合テレビのニュースでも放映されたことが報告された。

3) 防災減災学術連携委員会の延長申請について

資料2に基づき、防災減災学術連携委員会の設置期限を令和3年3月31日から、25期末の令和5年9月30日まで延長する申請書類の内容と、防災学術連携委員会設置要綱改正案について、米田委員長より説明があった。

4) 防災減災学術連携委員会の委員追加申請について

資料3の追加委員候補リストを基に議論が行われ、さらに3名を加えた11名の方々を追加委員候補とすることに決定した。これにより現在の委員12名から計23名に増員されることとなる。

5) 今後の活動について

<学協会・府省庁との連絡会について>

定例会としている学協会・府省庁との連絡会のテーマについての議論が行われた。なお、この連絡会ではまずテーマを決めて、そのテーマに合う府省庁から政策説明をしていただき、関係する学会や学術会議からも情報提供していただき、ディスカッションすることが考えられている。できれば府省庁が参加しやすいテーマが望ましいとの話であった。

テーマ案に関して以下の提案・意見があった。

- ・ IT・ネットワーク技術の災害時活用
- ・ 科学的情報を避難にどう活用するか。
- ・ 水害関係のテーマ。地球温暖化の影響と防災対策という切り口もある。
- ・ 新型コロナウイルス関連のテーマ。
- ・ 府省庁は研究者に何を求めるのか（テーマ設定上の工夫は必要）。
- ・ リスクコミュニケーション、クライシスコミュニケーション。
- ・ 原発事故を視野に入れた災害対応（南海トラフの地震など）。

6) その他

- ・ 米田委員長より、防災学術連携体では学会以外にも防災に関連する活動をしているグループが参加できるように、特別会員の枠を設ける予定にしていることの説明があった。
- ・ 次回の委員会は、新任の委員への就任内諾後に、以下の中から学術会議の薦田氏に日程調整していただく。

4月20日 15:30～17:30、17:30～19:30

4月27日 10:00～12:00

4月30日 13:00～15:00、15:00～17:00

- ・ 府省庁との連絡会は8月に開催する方向で調整する。

以上